

東紀州産業振興学会通信

第6号



令和2年度 JA グループ三重・三重大学受託研究に採択されました

尾鷲の特産品である甘夏を使った農産加工品の開発

今回のプロジェクトでは、附属農場の農産加工技術を活かして甘夏の新たな加工品を試作・開発し、生食で利用できなかった甘夏の新たな利用方法について提案する事により、地域の活性化に貢献する事を目的としています。

現在の課題として苦味がなく、甘夏独自の爽やかなさっぱりとした風味を活かした加工品の開発が挙げられます。柑橘は図1にある内果皮に苦味成分やペクチンが多く含まれます。このため甘夏の果実を絞り、果汁を煮詰めて砂糖を加えても内果皮に含まれるペクチンが得られないためジャムとして必要な固さが得られない事、代わりに市販品のペクチンを加えると今度は爽やかな風味が損なわれる事など加工品の開発の難しさを痛感しています。

昨年度から東紀州産業振興学会の依頼を受け、甘夏の加工品試作を始めました。これまでに図2にあるマーマレードの製造レシピを用いて甘夏マーマレードの試作を行い、大学内でアンケートを実施して好評を得る事ができました。

今後はジャム以外にも視野を広げ、尾鷲の甘夏の魅力をアピールできるような新たな加工品を試作・開発する事を検討しています。尾鷲の甘夏の新たな魅力をアピールできるように、また六次産業化に向けた取り組みの一環として農産加工の技術提供を行い、新商品の開発や販売を通して地元企業や団体の活性化につながるように努めてまいります。

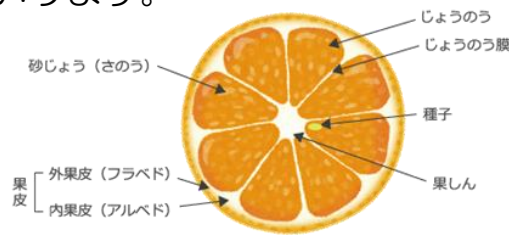


図1 柑橘類の果実構造略図

(アバ イブ ダ ヲ株式会社HPより引用) 図2 農場産マーマレードの製造工程



吉田智晴技術専門員

(フィールドサイエンスセンター 農場 吉田智晴)

おしらせ

延期になっております地域連携事業報告会ですが、10月9日午後尾鷲市熊野古道センターにて開催予定です。新型コロナウイルス感染拡大への対策も検討しながら、昨年度事業の成果や三重大学の研究成果報告を企画しております。詳細は裏面、問い合わせ先もしくは、HPよりご確認、申し込み下さい。

熊野市で始まった明日葉（アシタバ）プロジェクト

秦の始皇帝（BC259年～210年、中国最初の皇帝）から蓬萊の国・日本で不老長寿の薬草を探すよう命じられた徐福が上陸したと言われている熊野市波田須。そこに自生している不老長寿の薬草と言われる「明日葉（アシタバ）」を活用した地域おこしが始まっている。



栽培中の明日葉



徐福が上陸したと言われる熊野市波田須 自生している明日葉（中央徐福神社）

明日葉は「今日、葉を摘んでも明日には芽が出る」と言われるほど生命力が旺盛であると由来する。そのため、熊野市をはじめ地元では自宅の庭先で明日葉を栽培し、滋養強壮野菜として「おひたし」や「天ぷら」にして食べるなどの食文化が残っている。

明日葉は、その機能性成分についても近年注目されている有望な野菜であることから、今年度から三重大学生物資源学部資源作物学研究室（梅崎輝尚教授）の支援を得て、熊野地域の地勢・気象特性を活かした明日葉の栽培技術を開発することを目的に「NPO法人あそぼらいつ」による明日葉栽培及び地元企業によるパウダー生産技術の開発が進んでいる。今後、得られた技術を活用することにより明日葉栽培・加工・販売といった事業化が期待でき、熊野市における新たな産業を立ち上げることで、地域の雇用創出が期待できる。（産学官連携アドバイザー 山本浩和）



開発中のパウダー

地域再生大賞・優秀賞受賞の続報

「地域再生大賞」は、地域活性化に取り組む団体を支援しようと地方新聞46紙と共同通信が2010年度に設けたもので、第10回目の今回は、天満浦百人会ほか39団体が優秀賞を受賞した。

天満荘は敷地内に三重大の研究拠点の一つ「東紀州産業振興学舎」を構え、講演会や研究調査を行うなど研究活動拠点となっています。また、尾鷲湾を望む高台に位置し、敷地内には大型の備蓄倉庫もあり、避難所として認定されました。

百人会の皆様の長年の活動が実を結びました。



表彰状と記念品

三重大学東紀州サテライト

東紀州産業振興学舎地域連携事業報告会

- ★日時：2020年10月9日(金) 13：30～16：00（開場13：00～）
- ★場所：熊野古道センター大ホール
- ★申込：三重大学大学院生物資源学研究科チーム（担当：前川）
TEL：059-231-9502 MAIL：renkei@bio.mie-u.ac.jp
- ★参加費：無料



昨今の新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、入場制限やオンライン参加をお願いする可能性もあります。詳細は、参加申し込み者にご連絡致します。

講演内容

- 大台町の発酵茶葉に含まれる有効成分
（生物資源学研究科 栗谷健志・西尾昌洋）
- みえの林産物を活用した香りビジネスへの取組み
（生物資源学研究科 中井毅尚）
- 尾鷲ヒノキ製品の環境影響評価による付加価値の創出
（生物資源学研究科 淵上佑樹）
- 養殖クビレズタからの機能性成分の生産技術開発
（生物資源学研究科 岡崎文美）
- 東紀州サテライトにおける学生プロジェクトの実施
（東紀州サテライト 山本康介）

三重大学東紀州サテライト東紀州産業振興学舎メンバー

東紀州サテライト東紀州産業振興学舎長 松村直人
東紀州サテライト研究員 山本康介
東紀州サテライト産学官連携アドバイザー 栗藤和治、山本浩和

<問い合わせ先>

三重大学大学院生物資源学研究科総務担当
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
Tel：059-231-9502 Fax：059-231-9634
HP：http://www.rscn.mie-u.ac.jp/higashikishu/